

2021.1
Vol. (3)

Glacal Action News

ローカル×グローバル
高校生の新たな学び方

学校法人 森教育学園
岡山学芸館高等学校



JTB大島モニターツアーの様子。備前県民局主催SDG s 教育旅行プログラム開発に協力するため、本校 2年生 7名が参加しました。地域の資源を掘り起こし、新しい観光を作る人々の情熱と活動に触りました。

Special Topic オンラインコンテストで綾々受賞!!

海の宝アカデミックコンテスト全国大会3位入賞! 地区ブロック大会でも10作品が入賞しました!

「児島湖から学ぶ環境保全」をテーマに、研究を続けた2V2坪内君。漁業者、地域住民、行政の三者の立場から保全のバランスをどう考えるか、取材力や着眼点、プレゼンの構成力を高く評価して頂き、全国3位「うらしま賞」と審査員特別賞として「日本財団賞」を受賞しました。同じゼミの他のメンバーも、近畿・中国ブロック大会で10作品入賞という素晴らしい成績を修めました。



今年度はコロナウイルス感染症防止のため、ほとんどのコンテストがオンライン開催になりました。生徒たちはひとつひとつのチャンスを大切に挑戦を続けています。

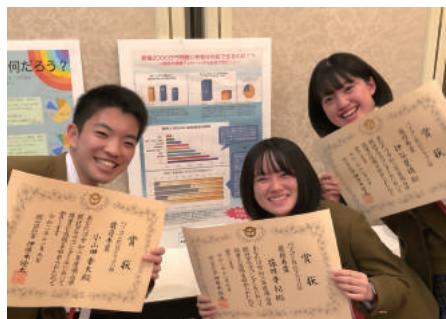
世界食糧デイで最優秀賞!

2V1 山本さん、2V2 井上さん、大上さんは、SDGs の一つ「飢餓をなくすための取り組み」を岡山県内外の高校生が提案するプレゼンテーション大会で、最優秀賞を受賞しました。3人は、貧困国を対象に部活動として「子ども食堂」を運営し、地域の人たちの交流拠点にすることを提案しました。



岡山県統計グラフコンクール最優秀賞受賞!

2V2 小山田君、伊谷さん、藤井さんは、金融教育に関する校内アンケート結果をグラフにまとめ、281 点の応募の中から最優秀に選ばれました。



マリンチャレンジ 中四国大会で優秀賞!

2M六車さんがマリンチャレンジプログラム中四国ブロック大会で優秀賞を受賞しました。牡蠣殻という産業廃棄物を活用して生物多様性を高める意義や、大規模な清掃工事の影響も含めて干潟の生物多様性を評価しようという研究に高い評価を得ました。他校の発表もレベルが高く、お互いの研究内容がリンクするところもあり、発表後の質問会も盛り上りました。来年3月の全国大会に進出します。



Topic 1 社会を支える人たちの生の声を聴いて考える

社会連携授業を受講しました

高校1年生は11月から社会連携授業を受講しています。岡山市・赤磐市・瀬戸内市の職員の方をお招きして、市民の生活課題を改善するために実際に行った体験談を伺いました。地域(ローカル)と世界(グローバル)の両方の視野を広く持つと共に、社会事象の関連性、

自分自身と社会の繋がりを主体的に考えていく力を養いました。

また12月にはJICAで岡山と世界をつなぐ活動をされている守都様より、パーム油という視点から、私たちの暮らしが世界と結びついているということについて深く考えさせられました。



Topic 2 リアルな現場の声に耳を傾ける

企業訪問で課題解決方法を探っています

2年生のゼミでは、自分で選んだ課題に関する解決策を探るため、学校の外に出て、解決のヒントを探ります。

循環型社会形成ゼミは、平林金属(株)えこ便西大寺局を訪問しました。2年前から本校に資源回収リサイクルポストを設置してなじみのある企業です。回収した家庭用廃品が、次世代に利用されるまでの流れを学び、リサイクルについて意見

交換を行うことで、開発中の環境教育教材に盛り込むアイデアを見つけました。

スポーツと社会ゼミは、瀬戸内市にある(株)三蔵農林を訪問しました。外国人技能実習生にインタビューを行い、抱える課題を探りました。発見した課題を、スポーツの力で少しでも解決に近づけることができるよう、アクションプランを練っています。



News!

今年はオンライン開催になりました
関西模擬国連に参加!



スーツを着た凛々しい姿。英語科3年生は9月、関西模擬国連に参加しました。例年は参加校が京都に集まって行いますが、今年はオンライン開催となり、学校から参加しました。生徒たちは世界各国の大天使になりきり、開催された2日間を全て英語で、画面の先にいる仲間と協働しながら課題解決策を考えました。

News!

FOCUS 本番!
全国高校生SRサミット



11月、世界から高校生や社会人350名が参加し、国際貢献や地域貢献活動の発展・継続を目指すサミットが開催されました。学芸館からは2プロジェクトが参加しました。オンラインで初対面の人たちとの共同発表でしたが、素晴らしい発表ばかり!高校生のパワーと柔軟性を感じた2日間でした。

